

令和 6 年 10 月 30 日

令和 7 年度平均保険料率に関する評議会における意見（鹿児島支部）

（令和 6 年 10 月 29 日開催 鹿児島支部評議会）

【評議会の意見】

令和 7 年度保険料率については、現状を踏まえると、10%維持が妥当と考える。

ただし、準備金を定期預金に預けるだけでなく、運用することを協議する必要があると考える。

また、不測の事態に備えた短期的な面での準備金と財政安定化という中長期的な面での準備金を区別して管理しても良いのではないかと考える。

【評議員の個別意見】

（学識経験者）

- ・ここ 2 年程で利率は変わっているが、5 兆円を超える準備金を定期預金だけで運用することは、現状に即していないため、運用について検討すべきである。

（事業主代表）

- ・現在の仕組みでは、事業主負担も被保険者の負担も上がり続けるだけで、被保険者の可処分所得は増えず国民は裕福にならない。
加入者から保険料を徴収するだけでなく、準備金の運用について努力していただきたい。

（被保険者代表）

- ・準備金の性格を明確にすることと、不測の事態に備えた準備金と財政安定化のための中長期的な準備金に区別して運用して良いのではないかと考える。